

## 2018年度前期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2018年度前期				2017年度前期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	51	51	149	147	51	51	249	184※
非常勤	62	58	104	98	69	64	104	95
総合計	113	109	253	245	120	115	353	279

※) 2017年度前期において、専任の実施科目数が対象科目数より少ない理由については、当初原則全講義（演習、語学、体育実技等を含む）で実施することとしていたが、後に演習については経営学部のみ後期実施とすることとしたためである。

### 【属性】（設問1～設問2）

アンケートに答えた学生（のべ回答者）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比				学年別人数・構成比		
学部	学科	人数	構成比	学年	人数	構成比
経済学部	経済学科	1360名	17.9%	1年次	2820名	37.2%
	公共政策学科	1044名	13.8%	2年次	2264名	29.8%
経営学部	スポーツ経営学科	3790名	50.0%	3年次	1930名	25.4%
	情報メディア学科	1387名	18.3%	4年次	464名	6.1%
科目履修生・交換留学生・聴講生		5名	0.01%	5年以上	94名	1.2%
計		7586名	100.0%	科目等履修生他	14名	0.2%

延べ回答者数／延べ受講者数＝回答率

7,586／10,566＝71.8%（前回：64.8%）

### 【授業アンケートの実施率と回答率】

○講義数でみた授業アンケートの実施率（＝アンケート実施講義数／アンケート対象講義数）は96.8%であり、前年同期（以下、「前回」と略記）のアンケートの実施率（79%）に比べて上昇した。

なお、アンケート対象講義数が前回に比べて減少しているのは、経済学部の演習（通年科目）の授業アンケート実施時期を前期から後期に変更したことによるものである（経済・経営両学部とも実施時期を後期で統一）。

○また学生の回答率（＝延べ回答者数／延べ受講者数）も71.8%であり、前回の64.8%に比べて上昇している。

### 設問 3.【板書・パワーポイント・資料は分かりやすいか】

○「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 54.2%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計 (12.8%) を上回っている。

なお、今回のアンケートでは設問の文言および選択肢に変更を加えたため（板書だけでなく、パワーポイントや資料についても問うこととし、また選択肢も整理・細分化するなどの変更を行った）、前回のアンケート結果とは単純に比較はできないが、前回のアンケートにおいて「分かりやすい」と回答した割合は 42.1%であった。

○「板書やパワーポイント、プリントが大変整理されていて、良かった」とする声がある一方で、「板書、パワーポイントがまとまっていない」、「板書の字を丁寧に書いて欲しい」、「板書やパワーポイントの字が小さい」「板書の後、先生が被って板書が見えない」「使われる色によってはパワーポイントが見えにくい」「スライドの切り替えが早すぎる」など、様々な要望も一部にみられた。

### 設問 4.【教員の話し方・説明は分かりやすいか】

○「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 58%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計 (11.8%) を上回っている。

なお、前回のアンケートにおいて「分かりやすい」と回答した割合は 59.6%であった。

○分かりにくさを訴える理由としては、「マイクの音量が適切ではない（大きすぎる、小さすぎる）」、「マイクを使っていない」、「ぼそぼそと話す」、「早口すぎる」「授業を進めるペースが速すぎる」などが挙げられている。

### 設問 5.【授業内容がどの程度理解できるか】

○「とても良く理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合の合計は 57.3%であり、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合の合計 (11.2%) を上回っている。

今回のアンケートにおいては、設問の趣旨を授業の理解度を問うものに整理・統一し、かつそれに合わせて選択肢の文言の変更および細分化を図ったので、前回の結果と比較はできないが、前回アンケートの授業の難易度を問う設問において「十分に理解できる」「理解できる」と回答した割合の合計は 73%であった。

○「学生が理解できていないようであれば、具体例を挙げて丁寧に説明してくれる」「質問に丁寧に答えてくれる」「図を用いて分かりやすく説明してくれる」「学生の意見を拾いながら授業を進めてくれる」「プリントの内容がよく整理されていた」など、教員サイドの工夫によって理解が深まったことを述べる意見が目立った。他方において、「授業内容の要点が整理されていない」や「授業の要点が分かりにくい」など授業内容のより一層の整理を求める意見も一部に見られた。

#### 設問 6. 【授業に集中するための環境は保たれているか】

○「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合の合計は 64.8% であり、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合の合計（8%）を上回っている。

なお、今回のアンケートにおいては選択肢を前回のアンケートから変更（整理、細分化）したため、前回のアンケートとは単純に比較できないが、前回アンケートにおいて「常に静穏である」と回答した割合は 72.4%であった。

○授業に集中するための環境が保たれていない理由としては、「教室の後ろに座っている学生がうるさい」「途中退室する人がいる」「スマホをさわっている学生がいる」などが挙げられている。学科間の格差が大きく、また総じて受講者数の多い講義においては静穏ではない傾向が窺われる。

#### 設問 7. 【授業に意欲的に参加したか】

○「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合の合計は 63.3% であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合の合計（6.7%）を上回っている。

なお、この設問は前回のアンケートにはなかった設問なので、前回との比較はできない。

○科目等履修生・交換留学生・聴講生の意欲は、極めて高い傾向にある。

#### 設問 8. 【授業に参加してどのように感じているか】

○「とても満足」「やや満足」と回答した割合の合計は、56.8% であり、「とても不満」「やや不満」と回答した割合の合計（9.8%）を上回っている。

今回のアンケートでは選択肢を少し前回と変えている面はあるものの、前回において「非常に満足」「まあまあ満足」と回答した割合の合計は 69.8% であり、他方「非常に不満」「やや不満」と回答した割合の合計は 6.3% であった。

#### 設問 9. 【予習・復習を毎回平均してどの程度行っているか】

○「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計、すなわち予習・復習を行っている割合は 39.8% であり、他方「ほとんどしない」と回答した割合は 60.2% であった。授業の予習・復習をして理解を深める習慣が備わっていない学生が多いことが窺われる。

○前回のアンケート結果と比較し、「ほとんどしない」と回答した割合に変化はほとんどなかったが（前回 60.7%→今回 60.2%）、今回のアンケート結果において特徴的だったことは、「1 時間以上」と回答した割合、すなわち本学において一番長く予習・復習をしていると思われる層が減少したことである（前回 10.6%→今回 6.1%）。こうした傾向は程度の差こそあれ学科を問わず共通してみられる。すなわち、予習・復習をしない学生が依然として多い一方で、予習・復習をする学生であっても予習・復習の短時間化が学科を問わず進行している可能性が懸念される。

#### 設問 10. 【学生の理解を確認しながら授業が進められているか】

○「確認されていない」と回答した割合は 12.5%である。今回のアンケートでは前回の選択肢から変更を加えたため、前回アンケートとの単純な比較はできないが、前回アンケートにおいて授業の進め方が「ほとんど一方的」と回答した割合は 12.6%であった。

○「小テストや課題」「問答」「前回の（授業の）振り返り」など、何らかの形で学生の理解を確認し、それを深めながら授業が進められていることがアンケート結果から窺われるが、学生の理解を確認する手段として最も大きな割合を占めたのは、「前回の（授業の）振り返り」である。学生側としても、この「前回の（授業の）振り返り」を高く評価し、かつそれを要望する傾向がみられる。その理由として学生が挙げているのは、「覚えやすくなる」「授業でどんな話をしていたか思い出せる」などである。こうした傾向、すなわち学生の側において「前回の（授業の）振り返り」が高く評価される背景の一つには、復習するという習慣が身につけていないという本学学生の全体的な特徴があるように思われる（記述式アンケートにおいて、学生の間で復習の習慣の少なさを「前回の（授業の）振り返り」という形で授業時間の中で補ってもらおうとする傾向が窺われる）。

○「小テストや課題」を肯定的に評価する意見がある一方で、小テストや課題を減らす、あるいは無くすことを求める意見もあり、本学における多様な学生層の存在が窺われる。

#### 設問 11. 【この授業で大変良かったと思われる点（抜粋）】

- ・一人ずつ発表があったところが良かった。
- ・小テストが毎時間あるので、きちんと覚えられる。
- ・ワークシートやパワーポイントに無い内容まで教えて頂き大変勉強になりました。教師を目指す身として、またいずれ親になった時にとっても為になる知識をより深めることができた実感しています。
- ・基礎まで教えてくれた。
- ・課題や小テストによって勉強するくせがついて、良かった。
- ・グループ学習、グループディスカッションがあって、良かった（話す力がつく、覚えることに役立つ、等）。
- ・先生との距離が近く、質問しやすくて良かった。
- ・小テスト、課題などに対してコメントをしてくれる、添削指導してくれる点が良かった。
- ・問題一つひとつにちゃんと解説してくれるので、答えが合っていても間違っているように思えるようになっていて、良かった。
- ・実際に体験する活動があり、よく理解できた。
- ・大垣の町についてよく知ることができた。

#### 設問 12. 【この授業で工夫・改善して欲しいと思う点（抜粋）】

- ・授業内容が難しい、出される課題が難しい。
- ・授業の温度管理（暑い、寒い）をして欲しい。
- ・教員が毎回遅刻する。
- ・授業が終わるのが遅い。

- ・特定の学生がうるさい（注意する、学科ごとに分けて受講者数を少人数化する等の対策が必要）。
- ・カメラのシャッター音がうるさい。
- ・授業で利用している PC がポンコツなので、PC の取り換えを必ず実施すべきである（立ち上げに 10 分も要しては、快適な学習環境とは言い難い）。
- ・途中退室する学生がいると、授業の雰囲気は損なわれる。
- ・途中退室を認めて欲しい（トイレ等）。
- ・水分を摂ることを認めて欲しい（学生だけでなく、教員もまた水分を摂るべきである）。
- ・授業の進め方をゆっくりにして欲しい。

以 上